

三心を磨く

学校だより No. 8
令和4年10月6日(木)発行
須坂市立東中学校
文責： (教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

◇第45回東祭開催 ご支援ありがとうございました◇

「絆～繋がれ東～」をテーマに、第 45 回東祭が開催されました。感染症防止対策もあり、今年も保護者、地域のすべての皆様にご観覧いただくことは、叶いませんでしたが、ご支援ご協力のおかげで、無事開催することができ、全校生徒が、充実した 2 日間を過ごすことができました。



開祭式 生徒会長あいさつ

みなさんおはようございます。今日から二日間の東祭が始まろうとしています。今回の東祭は一年生にとっては初めて、二年生にとっては二度目、三年生にとっては最後の東祭となります。それぞれが最高だったと思える成長、学びの機会にしましょう。さて、日本でコロナが蔓延してからもう2年が経ち、第何波かも分からないほど感染者は増減を繰り返しています。そして今、コロナが落ち着いてきているとはいえ、油断のできない日々が続いています。ですがやはり、どんな現状であろうとも諦めず、最高のものを創り上げる努力をすることが大切だと思います。



今回の東祭では、全校総合「プレイエルに命を吹き込む」の発表や、ピアニストの
さんによるピアノ演奏があります。地域の方、企業の方など様々なところから
支援をいただきとてもありがたいです。私たちも、これまでの活動を発信して、ニュー
ス番組に取り上げていただいたり、企業訪問を行い、資金をいただいたりしました。沢
山が入れられたプレイエルのピアノが奏でる音を聞くのがとても楽しみです。

そして今日を迎えるまでに、クラスや学年などでいろいろな問題があったと思います。うまく物事が進まなかったり、練習に対する意欲がないなど感じることもあったりしたと思います。しかし、それらを解決しようと努力した皆さんは、仲間との関わりの中で人とのつながり、絆を感じたと思います。これから始まる二日間でそれを存分に発揮してください。

今年の東祭のスローガンは「絆～繋がれ東～」です。学年、クラス関係なく縦横でつながり、全校一人一人の力で創り、輝ける東祭の実現を目指します。スローガンを達成し、本番で100%の力を出し切るために、全校で一致団結し、準備を進めてきました。これから始まる二日間は一人一人がどんな輝きを放ち、飛躍するでしょうか。今からとても楽しみです。全校で繋がり絆を深め、最高の時間を創り上げましょう！

開祭式 **校長先生のお話**

新型コロナウイルス感染症の第7波は減少傾向にあるもののまだまだ予断を許さない状況です。本来なら、来賓として地域の皆さんを招待して、コロナ禍を乗り越えて輝く皆さんの姿をご覧いただきたいところでしたが、残念ながら、制限を伴う公開となりました。しかし、そのような状況の中、教育委員様、学校運営委員の皆様、PTA 会長様をはじめとする三役の皆様、保護者の皆様におかれましては、ご多忙中ご臨席いただきまして、誠にありがとうございます。どうかお時間の許す限り生徒達の輝く姿をご覧ください。

いよいよ第45回東祭の幕開けです。今日を迎えるまでの間、常に感染予防対策を行っての準備でしたが、皆さんの努力とご家族の協力のおかげです。頑張りましたね。

今年度の生徒会では、自分たちの活動をSDGsの視点からとらえ直し、新たな活動が展開されてきました。全校でSDGsを学んだ生徒集会、古紙を再利用したごみ拾い登校、資源回収や有志で取り組んだサツマイモ栽培、他にも委員会ごとに様々な取組がなされました。これらの取組は、校内、地域にとどまらない広い視野を皆さんにもたらし、持続可能な社会の創り手になるための確かな歩みにつながっていると確信しています。

さて、今年度の東祭のテーマは「絆 ～繋がれ東～」です。今年度の東中にとってもふさわしいテーマだと思っています。「絆」とは「人と人との断つことのできないつながり。離れがたい結びつき。」のことです。私は、入学式で、「皆さんは、一人一人が、自分らしさという異なる色の命の光を持ったかけがえのない存在です。しかし、たった一人ではその光を放つことはできません。自分らしさという光を輝かせるためには、他者の存在が必要なのです。」と話しました。自分と他者との断つことのできないつながり・結びつきが自分らしさという光を輝かせるのです。正に「絆 ～繋がれ東～」ということです。そして、パンフレットの挨拶で、生徒会長さんは、「全校での繋がりを大切にしていけることで、東中の未来が開かれる」と述べてくれています。今が未来に繋がっているという見方・考え方は、とても大事な視点です。さらに、皆さんはまだ自覚していないかもしれないので私から付け加えておきたいと思います。「PLEYELにいのちを吹き込む」取組です。この取組は単に古いピアノを復活させる取組ではなく、私たちが知らなかった東中に関わった様々な人・物・事、つまり過去と今・未来を繋げ・結び付けるという「新たな絆」を創りあげる営みでもあったということです。コロナ禍のため残念ながらご招待できなかったPLEYELのピアノとともに中学時代を過ごした地域の方々の中には、皆さんの取組に触発されて、懐かしい時を鮮明に思い起こしている方もいらっしゃると思います。そういった方々も含めての「繋がれ東」なのではないでしょうか。また、この二日間は、「生徒会引継」に向かう場でもあります。思いをかけてこの二日間を過ごす中で、3年生は何を残せるか、2年生は何を受け取るか、心を働かせましょう。1年生は正真正銘、初めての東祭です。楽しむことはもちろん、2・3年生の姿から何かを学び取って欲しいと思います。

最後に、皆さんが主体的に取り組んで今日を迎えたこと、そのことに大きな価値があります。そして、それぞれの発表・表現は、その瞬間に消えていくものです。同じ空間で、互いに創り上げた空気を共有することで体感する感動は、心に刻むことでしか残すことはできません。皆さんと共にその感動を味わいたいと思います。終わります。



○この度は学校祭の開催に向け、人数の制限や徒歩での来校に、ご理解とご協力をいただき、誠に有難うございました。今後とも宜しくお願いいたします。